

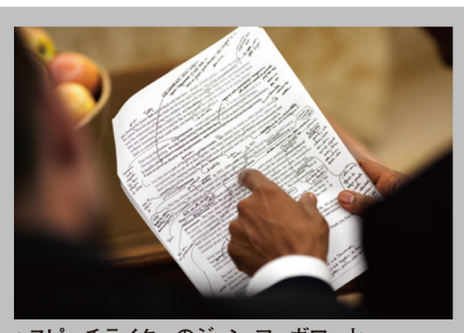
●得意気にバットを振るバラク少年。



●2004年民主党全国大会で基調講演を行う。



●投票日の夜、シカゴのグラント・パークには20万人以上が集まった。



●スピーチライターのジョン・ファヴローと、演説内容を確認する。



●就任の宣誓に出ていく直前に祈りの言葉を唱える。



●ホワイトハウスにて、初めて執務机に向かう。

希望を持ち続ければ、分断は乗り越えられる——。

「希望と変革」という期待を担い
初のアフリカ系アメリカ人として
大統領となったバラク・オバマ。
次世代へのメッセージとして
「民主主義は天から与えられるものではなく 共感と共通認識をもとに
国民が一丸となって
日々つくりあげていくものである」
と美しく力強い筆致で綴っている。



上巻の内容（抜粋）

- 大学卒業後に地域の課題解決に取り組む（1章）
- 大統領選に出馬。ヒラリー・クリントンとの闘い。アメリカの人種問題、そして自身のルーツの複雑さに直面。（1～3章）
- インターネットに精通した若いボランティア達に支えられる。19歳上のバイデンを副大統領候補に。彼の人柄に魅せられる。（4～8章）
- 大統領選勝利。就任式。政権移行。（10章）
- 経済再生策に奔走、イラク撤退、アフガン増派。民主党と共和党の分断に頭を悩ます。（11～13章）

下巻の内容（抜粋）

- 外交デビュー。メルケル、サルコジ等への人物評。（14章）
- 医療保険制度改革法案通過のための交渉と妥協。（16章）
- ノーベル平和賞受賞にとまどいつつ、決意を新たにする。（18章）
- プーチンとの会談。ブッシュ政権時代の不満とイラン問題など、緊張感のあるやりとりを交わす。（19章）
- 訪日。鳩山首相、天皇皇后両陛下との会談。（20章）
- トランプによる根拠のない主張（フェイクニュース）を警戒。（26章）
- ビン・ラディン殺害。（27章）

※『約束の地 大統領回顧録Ⅱ』は2023年ごろ発売予定

バラク・オバマ
約束の地 大統領回顧録 I 上・下

A PROMISED LAND
BARACK OBAMA

訳:山田文 三宅康雄 ほか　四六判／（上）544ページ・（下）560ページ　●本体（各）2,000円+税　（上）ISBN978-4-08-786133-4　（下）ISBN978-4-08-786134-1

アメリカの政治、国際情勢はどうあるべきか、
リーダーはどうあるべきかを考える上で、
この本は良き教科書になると思います。

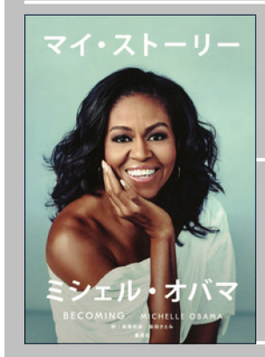
池上 彰さん（ジャーナリスト）「青春と読書」2021年3月号

特設サイトにて池上彰さんによる解説、本書の試し読みができます。
バラク・オバマ　集英社　検索
http://gakugei.shueisha.co.jp/obama/

本日発売

※一部地域で発売日が異なる場合があります。

〒101-8050
東京都千代田区一ツ橋2-5-10　集英社



多様性を訴え、
社会をエンパワーメントし続けた
ひとりの女性（ファーストレディ）の物語。

ロングセラー 6刷!

ミシェル・オバマ
マイ・ストーリー

訳:長尾莉紗 柴田さとみ 四六判／600ページ
●本体2,300円+税　ISBN978-4-08-786117-4



●大統領の重責と闘う日々の中でも、妻ミシェルと私は笑い合うことができた。



●ウラジーミル・プーチンの別荘を訪れる。



●ジョー・バイデン副大統領とともに医療費負担適正化法の可決を見届ける。



●娘たちと過ごす時間が一番嬉しい。